

### 第33回村野藤吾賞選考経過

第33回村野藤吾賞の選考委員会は、2020年2月18日(火)、建築家会館大会議室において、加茂紀和子、佐野吉彦、中川武、平田晃久の4氏と、当会代表の古谷誠章を加えたの5人の選考委員全員の出席をもって開催された。

選考委員には予め推薦作品の資料を送付し、任意に現地審査を依頼した。

村野藤吾賞は村野藤吾記念会会員(464名)から推薦された作品を選考対象としている。

第33回村野藤吾賞には、村野藤吾記念会会員により以下の推薦があった。

- 1 ヨコミヅマコト 釜石市民ホール
- 2 新関 謙一郎 新関謙一郎著『NIIZEKI STUDIO 建築設計図集』に見られる一連の作品
- 3 坂本 昭 太子町新庁舎「太子の環」
- 4 乾 久美子 釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市唐丹児童館
- 5 手塚 貴晴 ふじようちえん
- 6 小堀 哲夫 ROKI Global Innovation Center
- 7 小堀 哲夫 NICCA INNOVATION CENTER
- 8 堀部安嗣 竹林寺本坊・庫裏
- 9 石上純也 ボタニカルガーデン アートビオトープ「水庭」
- 10 中藤 泰昭 G.Itoya (銀座・伊東屋)
- 11 谷口 吉生 鈴木大拙館

(番号は開封整理番号、順不同)

整理番号順にすべての作品について各委員が見解を述べ、意見を交換した。

その後、各選考委員が選定に向けて議論すべき作品を3つ選び絞り込みを行ったところ、以下作品が挙がった。

- 11 谷口吉生 鈴木大拙館——4
- 6 小堀 哲夫 ROKI Global Innovation Center——3
- 4 乾 久美子 釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市唐丹児童館——2
- 5 手塚 貴晴 ふじようちえん——2
- 9 石上純也 ボタニカルガーデン アートビオトープ「水庭」——2
- 2 新関 謙一郎 新関謙一郎著『NIIZEKI STUDIO 建築設計図集』に見られる一連の作品——1
- 3 坂本 昭 太子町新庁舎「太子の環」——1

各作品を挙げた選考委員が選考の理由を述べ、議論する中で、「鈴木大拙館」と、「釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市唐丹児童館」のふたつに候補が絞られた。

震災復興建築である「釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市唐丹児童館」は、地形や地域の風景に丁寧に馴染ませたつくり方が高く評価されたが、「鈴木大拙館」は、村野藤吾賞の主旨である感動を与える建築として、選考委員のいずれもがその完成度の高さを認めるところであり、谷口吉生さんに第33回村野藤吾賞を贈ることを全員一致で決定した。